

二区町 生きがいサロン

7月8日(月)

認知症サポーター養成講座



市高齢福祉課、西部包括センターの方から説明をして頂いた後、寸劇「認知症は専門家にまかせるべきよ！」を見て、「認知症の参加者はサロンを卒業して介護のフロアに任せた方がいいんじゃない？」「う～ん、なじみのある場所や地域から切り離されるのはどうかしら？」さて、皆さんはどうしたらいいと思いますか？4グループに分れて話し合いをしました。

認知症の方と接する三原則

・驚かせない ・急がせない ・自尊心(プライド)を傷つけない
グループワークの結果、軽度のうちはなるべく話に耳を傾けて今まで通りサロンで過ごす「**地域での見守り**」をするという意見が出ていました。



那須塩原市社会福祉協議会



令和元年7月作成